



おはなしの

マッチ箱



私達は、おはなしのろうそくに  
火をともし マッチです。

この箱が、さまざまなお話を  
マッチで いっぱいになるように。  
心をこめて送ります。

## 3月のストーリーテリング勉強会

2014年3月12日(水) 午前9:30~12:00

主催：高知県立図書館 参加者：8人

場所：高知県立図書館 児童図書研究室(子ども読書室奥)

次回の勉強会は

4月9日(水)

午前9:30~12:00

場所：当館児童図書研究室

(子ども読書室奥)

### 1. ルンペルシュティルツヘン

12分

『おはなしのろうそく12』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】

同じお話をもう一度挑戦させていただきました。

前回のアドバイスを参考に話してみました。また新しいお話をしてみようと思います。

### 2. りゅうのうめのなみだ

15分

『りゅうのうめのなみだ』(浜田広介/文 いわさきちひろ/絵 偕成社/発行)より

【語り手から】

初めてなので緊張しました。自分では早口になってしまっていて、一言一言をていねいに言えませんでした。浜田広介さんの言葉を大事にしたかったです。反省。レパートリーをふやして、場慣れもしたいと思います。

### 3. エパミナンダス

7分

『おはなしのろうそく1』(東京子ども図書館/編・発行)より

【語り手から】

明るい話は得意ではないので楽しさが伝わるよう心がけました。

### 4. 赤ずきん

10分

『子どもに語るグリムの昔話5』(佐々梨代子 野村滋/訳 こくま社/発行)より

【語り手から】

前回よりは全体の流れをつかめた気がしましたが、あまり力を入れすぎず、素直に語れるようにしたいと思います。

### 5. ふしぎなたいこ

5分

『ふしぎなたいこ(日本むかしばなしライブラリー6)』(西本鶏介/文 若菜珪/絵 フレーベル館/発行)より

【語り手から】

絵本からのストーリーテリングは、毎回失敗しているので、今回は、絵がなくても、情景がイメージしやすいように、自分で接続詞等付け加えて語りました。

いつも誇張し過ぎてしまうので、なるべく、あまり大袈裟にせず、ストレートに語ったつもりでしたが、まだまだでした。今回も、ベテランの方々のお話が沢山聞けて、勉強になりました。

### 6. テブクロ

10分

『テブクロ ウクライナのおとぎばなし』(エ・ラチョーフ/著 アズマカズオ/訳 モスクワ外国語図書出版所/発行)より

【語り手から】

おさないこどもに語っています。

### 7. 山の上の火

10分

『山の上の火 エチオピアのたのしいお話』(クーランダー/文 レスロー/文 渡辺 茂男/訳 岩波書店/発行)より

【語り手から】

しっかり準備できていなくてごめんなさい。(ちょっと早口になったかもしれません)

先日、子ども読書室に、女の子がつくしを持ってきて見せてくれました。つくしは大事そうに鞆の中へ。まだ寒い日もありますが、春の訪れももうすぐのようです。

【お知らせ】

4月からも、場所は同じく、子ども読書室奥にある児童図書研究室で行います。

